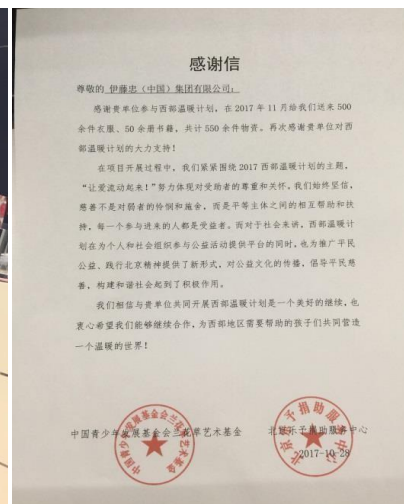


# 2017年11月2日 北京伊藤忠-西部地域助け合い「冬物衣類寄付」活動について

北京伊藤忠において、本年も冬物衣類寄付活動を実施いたしました。伊藤忠中国のCSR方針に基づき、従来以上に参加の呼び掛けを行った結果、本年は合計40名の社員から冬物衣類と布団を計500点以上、図書や文房具は50点もの寄付が集まりました。本活動への社員の関心度は年々高まっていると実感しました。

北京伊藤忠が同プランに参加して丸5年が経ちました。多くの社員が千里の道も一歩からの精神で、これまで止まる事無く本活動を続けてきました。参加者一人ひとりが思いやりの気持ちをもって寄付活動を継続することが、他人への手助けになるということを実感しています。今後も本活動を継続していきたいと思います。



## 2018年3月17日 青島伊藤忠 – 障がいのある孤児への思いやりCSR活動

3月17日午後、青島伊藤忠の社員一同が青島社会福祉院へ行き、障がいのある孤児のお見舞いに行きました。挨拶をしたのちに、まず担当者より、同福祉院の歴史、障がい孤児の出身及び健康状態について説明されました。これらの児童の殆どが2～6才の間に障がいを抱えた子供たちであると聞き、その後当福祉院で仲間と生活をしているとのことでした。子供たち一人ひとりのバックグラウンドは異なっているものの、不自由な部分を見せることも無く、みんな仲良く遊んでいる様子を見て、参加した社員たちが大きな刺激を受けました。今回の福祉院訪問には都合により参加できなかった社員からも多くの児童向け書物、おもちゃ、食品を提供してもらい、それらを子供たちに手渡した時の子供たちの笑顔はたいへん印象的でした。伊藤忠の一員として今後もビジネス活動を通じての社会貢献はもちろんのこと、このように地域社会に対する支援活動についても継続していきたいと思えます。



## 2017年10月14日 青島伊藤忠-海岸でのゴミ清掃活動

社員の環境保護意識を高めるために、10月14日、青島伊藤忠において青島台湾路付近の海岸でゴミ清掃活動を行いました。当日は能勢総経理をはじめ合計19名の社員および家族が参加しました。まず、ゴミ清掃の前に、社員たちのISO及びCSR関連への理解を深めるためのクイズ大会を実施しました。予想以上に社員の皆さんは積極的にクイズに回答、クイズ大会で頭と体を温めたのちに、参加者全員で海辺のゴミ清掃を始めました。周囲には観光客もたくさんいましたが、一生懸命にゴミ拾いをしている社員に刺激され、一部の観光客はゴミ清掃活動に加わり、予想以上に広範囲にわたったゴミ清掃ができました。ゴミの清掃後暫く休憩した後、社員同士でビーチバレー、羽根蹴りなどのチームビルディング活動を行い、心身ともにリフレッシュするとともに、複数の活動を通じて伊藤忠の団結力を体現できたと思います。

今回の活動を通じて、社員またご家族、および周辺的一般市民の方の環境保護に対する意識を高めることができた点は、大変よかったと考えております。今後も我々は引き続き本清掃活動を推進し、地球環境に貢献すること、また同じような意識を持つ仲間を増やしていくことに尽力していきたいと思っております。



## 2017年10月1日 上海伊藤忠-雲南少数民族地域への冬物衣類寄付活動

上海伊藤忠では2016年より冬物衣類の寄付活動を開始しており、今回は2回目の実施となります。社員たちから着用しなくなった冬物衣類を回収し、数名のボランティアが、回収した衣類の分類・整理を行ったうえで、雲南省の少数民族地域の方々に寄付し利用してもらうことになりました。

伊藤忠中国において、本寄付活動は2013年に北京伊藤忠で始まり、その後他拠点でも同様に取り組みを開始、上海伊藤忠においても多くの社員が衣類の寄付に積極的に参加してくれました。世の中におけるリユース、リサイクルへの関心が高まる中で、上海伊藤忠においても、この考えが定着してきたように感じています。今後も同様の活動を継続・拡大していくよう、取り組んで参りたいと思います。



\*\*\*\*\*

### 活動参加者の社員からの感想：

※エネルギー・化学品グループ/労さん：

まず、本活動に参加できたことをとても誇りに思っています。また、上海伊藤忠がCSRへの取り組みに熱心であるという点も魅力を感じています。近所に住む人たちに、今回の衣類寄付活動の話をしたところ、皆さん高い関

心を持たれ、自分の古着も寄付してほしい、と私に預けてくれました。  
たった一人の、または一つの組織のみでは、直ぐに社会全体を豊かにすることはできないと思いますが、それでも上海伊藤忠の取り組みが、そして自分自身の行動が、今回のように周囲に良い影響を与えることができること感じました。



※経営管理グループ/陸さん:

昨年、会社から衣類寄付活動の告知があり、自身も参加しようと思い、普段あまり着ない衣類を寄付しました。他の社員も大きなカバンやスーツケースで古着を会社に持参しており、社員の皆さんの本活動に対する関心度の高さを実感しました。会社の忘年会の際に、同僚たちが寄付された衣類を山間地帯の住民に手渡しし、子供や大人たちが笑顔になったり、走りながら喜んだりしている様子を見て、自身も思わず目に涙が浮かんだのを今でも覚えています。自分の小さな手助けでも、山間部の子供たちにこんなにも多くの喜びを与えられるなんて思ってもみませんでした。今年もこの衣類寄付活動に参加することを決め、自身の古着のみならず、子供用の衣類と靴も併せて寄付しました。

伊藤忠として本活動は引き続き継続していくべきだと思います。人の温かみは大きなパワーだと確信しています。今後も伊藤忠が取り組む色々な活動を通して、多くの人に喜んでもらえるよう頑張りたいと思います。

\*\*\*\*\*

## 2018年2月26日-3月19日 香港伊藤忠-ご祝儀袋回収活動について

香港の環境保護団体「緑領行動(Greeners Action)」が主催する「ご祝儀袋リサイクルアクション」に参加し、新年明けに不要となった祝儀袋を寄付するよう社員たちに呼びかけました。「緑領行動(Greeners Action)」は、回収した祝儀袋を社会福祉機構の運営する工場で選別、処理し、「新たに作り変わったご祝儀袋」として無料で香港市民に配布する、という活動です。

過去数年間にわたり、本活動を継続してきましたが、社員たちの関心度も年々高まっており、今回寄付された祝儀袋は重さ3.5KGに達したほどです。社員たちにリサイクルへの理解を深めてもらうきっかけになったものと思います。

